

令和5年度 第2回経営審議会議事録

日 時 令和5年9月22日（金）9：56～10：53
場 所 本部棟2階 小会議室1
出席者 沖議長、中村委員、佐藤委員、晝田委員、中島委員、梶谷委員、則武委員
（出席7／7名）
（監 事）青木監事、上尾監事（出席2／2名）
（事務局）大坪課長、平田課長、阿部経理班長、鈴木主任、吉賀総務班長

1 開 会

2 議事録の確認

令和5年度第1回（令和5年6月20日開催）の議事録案は承認された。

3 議 題

[1] 審議事項

(1) 令和5年度 補正予算（第1回）（案）について

- ・事務局から資料1により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

【質疑応答等】

（問）高等教育修学支援制度の対象となった入学金納付者への入学金の還付による増額について、本補正予算に収入は計上しないのか。

（答）本補正予算に計上していないが、後日、国から補助されることとなっている。

（問）支出の部に係る寄附金の事業内容について、説明願いたい。

（答）開学30周年記念事業「食堂リニューアル事業」に充当する。

（問）国際青少年サイエンス交流事業の内容について、説明願いたい。

（答）国立研究開発法人科学技術振興機構の補助金を活用して、マレーシアマラッカ技術大学の学生と教員を招聘し、SDGs達成に向けた課題解決に関するワークショップや、ドイツのハノーバー応用科学芸術大学の学生と教員を招聘し、スマート社会等に関するワークショップやシンポジウムを開催するものである。

（問）一般管理費の学生会館太陽光発電設備新設について、なぜ、当初予算で計上しなかったのか。

（答）当初予算編成時は予定していなかったが、学生会館1階リニューアルを契機として、本学学生に脱炭素やエネルギー問題など、社会のニーズが高い環境問題に関心を持ってもらうため、同会館3階に設置するものである。

[2] 報告事項

(1) 令和4年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に関する評価結果等について

- ・事務局から別添資料1・2により報告があった。

【質疑応答等】

（問）法人自己評価と県評価委員会評価との乖離はなかったか。

（答）そのとおりだが、県評価委員会から様々な意見を頂戴した。

- (問)別添資料 1、P. 23 に県内就職率に係る委員会参考意見がない。
- (答)P. 31 に、副専攻「吉備の杜」の教育内容の充実や学内外への周知を進め、県内就職率の向上につなげてほしいと記載されている。
- (問)計画期間中に成果指標の変更が難しいこと、実施内容と成果指標の整合性などの課題がある中、現在検討中の第 4 期中期計画のポイントやスケジュール感について、教えてほしい。
- (答)来年度中の策定に向けて、現在、本学の総合戦略本部において、全学センター長も含めて、現計画の課題を洗い出し、学内で P D C A サイクルがうまく回るよう議論を重ねており、今後、県とも擦りあわせを行うこととしている。公立大学として、教育・研究に加えて、地域貢献を担っているが、次期計画の策定にあたっては、社会構造が大きく変化していることを念頭に取り組んでまいりたい。
- (問)学内や県だけではなく、県内企業や地域の方々などステークホルダーの意見等は反映されるのか。
- (答)第 4 期中期計画と吉備の杜の自走化のスタートが同一の令和 7 年度となることもあり、外部の意見を聞いているところである。
- また、本学の中期計画策定のもとになる県の中期目標については、県評価委員会で審議された後、令和 6 年度の秋頃にパブリックコメントを実施し、県議会に上程される予定である。
- (問)県大の目標はないのか。
- (答)現在、市町村を訪問し、本学に求められている役割やニーズ等を情報収集している。主体性を持って県と議論を重ねてまいりたい。

(2) 令和 4 年度 財務諸表等の承認について

- ・事務局から資料 2 により報告があった。

[3] その他

(1) 学生会館 1 階リニューアルオープンについて

- ・事務局から資料 3 により報告があった。

【質疑応答等】

- (問)地域の方々の活用方法はどのようなものを想定しているのか。
- (答)保健福祉学部の教員等が地域に出向き、研修・セミナー等を開催しているが、今後は学内で実施することも可能となる。
- また、地域の業者が臨時に出店できる地域出店カウンターを設置することとしている。

次回の開催は、令和 5 年 11 月 21 日(火)とされた。